

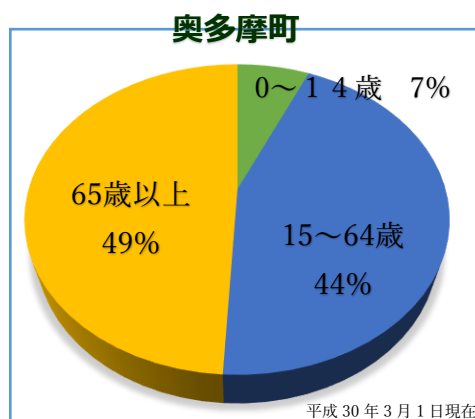
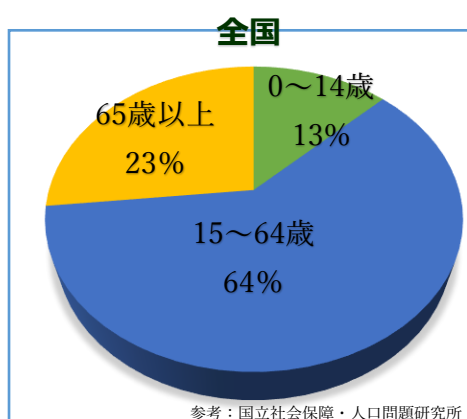
奥多摩町の10年後、20年後、想像できますか？

「みんなで創る助け合いのある地域」



「最近子どもが少なくなったね」「あそこも一人暮らしになったようだよ」「あの方認知症かも…」そのような声を町でもよく耳にします。このような地域の問題は奥多摩町に限られません。全国的な少子高齢化、それに伴う社会保障制度等の限界。限られたお金を有効活用し、よりよく暮らし続けるためにも、地域の問題を『我が事』と捉え、世代を超えて『丸ごと』つながる『我が事・丸ごと』の社会の実現が重要になってきました。人は、自らできる能力を発揮することで生きがいを持つことができます。支援を受ける状態の方でも地域でできることはたくさんあります。奥多摩町の10年後、20年後を見据え、住民のみなさんが役割を持ち、地域で助け合いながら暮らすことのできる仕組みを今から創っていくが必要になってきました。まず、お話を聞いてください。

●全国的に急速に進行する少子高齢化。多くの人は将来の生活に不安が…。



●社会保障制度をはじめ社会システムだけでは適切に対応することが困難に…。



参考：政府広報・内閣官房作成パンフレットより

●時代とともに人々の生活が便利になる一方、人と人のつながりも大きく変化…。

そうした中、子どもから高齢者までみんなが助け合いながら住み慣れた地域で自分らしく活躍でき、いきいきと暮らせる仕組みが必要になってきました。



●奥多摩町でも こんな取り組みが始まっています！●



梅澤地区の筋トレ体操
毎週地域の方々が集まり「筋トレ体操」で健康増進！ここで楽しくお話しすることも介護予防につながります。



日本語学校と交流料理教室
地域の方々との交流料理教室。日本の家庭料理を一緒に作りました。



地域ささえあいボランティア事業
高齢者・障がい者等の外出をすることが困難な方へ、医療機関の送り迎えや買い物を援助する有償ボランティア事業。

●全国でも どんどんこんな取り組みが始まっています！●



常設型の居場所
「実家の茶の間・紫竹」（新潟市）
住民ボランティアと行政の職員と一緒に障子の張り替えや掃除を行い、手づくりの居場所を作りました。小学生の総合学習などにも使われ、人と人が出会い、絆を深める地域の拠点になっています。



出典：公益財団法人さわか福祉財団

● みんなで助け合う地域づくりのイメージ ●



興味・関心のある方は

奥多摩町保健福祉センター

☎ 0428-83-2777

奥多摩町地域包括支援センター

☎ 0428-83-8555